

「臨床動作学研究」投稿規程

制 定：1994 年

最近改正：2023 年 6 月 18 日

- 1 本誌は、日本臨床動作学会の学会誌であり、臨床動作学及び近接領域における未公刊の原著論文（事例研究・実践研究を含む）、資料、総説、展望、書評などのほか、学会運営に関する資料や記録、その他編集委員会の認めるものを掲載する。
- 2 投稿論文の著者は、本学会会員に限る。なお、理事会もしくは編集委員会の決定により、会員以外の者に投稿を依頼することができる。
- 3 投稿論文は、本学会倫理規程の通り、人権上、研究倫理上の十分な配慮のもとに行われた研究であることが分かるように執筆されなければならない。特に事例研究の場合には、書面で同意を得たことについて論文中に記載すること。
- 4 本誌は、第 28 巻より Web 化のため J-STAGE に掲載することとした。なお、事例研究の場合、Web 公開にあたって、投稿者は①要約・全文公開、②要約のみ公開、のいずれかを選択できる。したがって、事例研究においては論文投稿前に必ず対象者に学会誌での公開及び Web 上での公開範囲（要約・全文公開か要約のみ公開）について説明し、書面での同意を得ておかねばならない。同意書の様式は自由とするが、研究が Web によって公開されることに同意したという内容が明記されていること。

また、事例研究でなくとも研究協力者が特定化されやすい少人数または属性（所属・特性など）などを対象とする研究においては事例研究に準ずるものとする。
- 5 論文の長さは、原則として、原著論文（事例研究・実践研究を含む）は、16,000 字（400 字印字として 40 枚）、資料は 8,000 字を基準とする。ただし、総説、展望は、32,000 字以内を基準とする。なお、図や表は、この字数基準の範囲内とする。
- 6 原稿は、A4 用紙に、21 字× 35 行の 2 段組（1470 字）で作成し、図表の挿入位置を明示すること。
- 7 図や表、写真は、本誌にそのまま掲載するので、出来上がり紙面を考慮して、掲載する大きさにして、明瞭に作成すること。また図 1、Table1 など順序を付け、それぞれに題と内容を和文又は英文で表記すること。
- 8 外国の人名、地名等の固有名詞は、原則として原語を用いる。その他の外国語はなるべく訳語を用いること。外国語を用いる場合は、初出の際、訳語に引き続いて（ ）をつけ示すものとする。
- 9 参考文献や引用文献は本文の終りに文献の見出しで著者の姓を基準にしてアルファベット順に、一括して記載すること。
 - a) 文献の記述形式は、雑誌の場合は、著者名、発行年度（西暦）、論題、誌名、巻（ゴシック）、号、記載頁の順序による。単行本の場合は、著者名、発行年度（西暦）、書名、発行所、参考または引用頁の順序とする。ただし、編者と担当執筆者の異なる単行本の場合は、該当執筆者

を筆頭にあげ、以下発行年度（西暦）、論題、編著者名、書名、発行所、頁の順序とする。なお、雑誌名の記載に際しては、略記をしてはならない。

- b) 同一著者で2種以上の文献がある場合は、発行年度順とし、また、同年度に同一著者で2種以上の文献がある場合は、1996a、1996bなどのように区別して記載する。
- 10 本文中に引用した場合は、その引用した著者名とそれに引き続いて（ ）内に公刊年度を記入すること。
- 11 謝辞等を記載する場合は、本文終りに一行あけ、「付記」の見出しで書くこと。
- 12 いずれの論文にあっても、表紙として、投稿の種目、表題、氏名、所属をA4用紙1枚分に記載すること。
また、表題、氏名、所属には英文を添え、本文に添付すること。
- 13 原著、資料の論文については、英文要旨と和文要旨を作成し、それぞれに3～5項目のキーワードを添えて投稿すること。
 - a) 英文要旨は、100～175語以内で作成し、英語の論題と氏名に続けて、ダブルスペースでA4用紙に印字すること。
 - b) 英語キーワードは、英文要旨本文の2行下段に印字すること。
 - c) 和文要旨は、400字～450字以内で作成し、日本語の論題と氏名に続けて、2行下段に、A4用紙に印字すること。
 - d) 日本語キーワードは、和文要旨本文の2行下段に印字すること。
 - e) 英文は英語の専門家の校閲を経ていること。
- 14 投稿論文は、表紙、論文本体、キーワードを含む英文要旨および和文要旨などすべてを電子媒体（USBメモリー、CD等）に保存して、採択決定時に最終原稿紙媒体1部とともに提出すること。
- 15 投稿原稿は、原著、資料等の別を明記し、投稿原稿1部とは別に、審査用として、著者名、所属機関を削除したもの2部を作成し、計3部を、簡易書留またはそれに準ずる受け取りが確実に確認できる方法で編集委員会あてに送付すること（投稿原稿はE-mailでも送付してください）。
- 16 投稿した論文をWeb投稿サイトにプレプリント（preprint）として掲載することは認めない。
- 17 掲載論文で、やむを得ず論文の長さが基準を大幅に超えたり、カラー写真印刷など印刷上特別の費用を要する場合は、当該投稿者の負担とする。
- 18 投稿原稿のコピー、および電子媒体のバックアップを必ず取っておくこと。
- 19 掲載された論文の著者には、抜き刷り30部を贈呈する。30部を超えて必要な場合は、その費用は著者の負担とする。

附則1 13項、14項一部改正（2015年10月10日 理事会承認）

附則2 4項、16項一部改正（2023年6月18日 理事会承認）

投稿先
務局

〒 870- 1192 大分県大分市大字旦野原 700 番地

大分大学福祉健康科学部池永恵美研究室内「臨床動作学研究」編集委員会事務局

E-mail : rindo.editorial@gmail.com (投稿原稿は E-mail でも送付してください)